令和3年5月19日

大船渡湾内観測結果（No.2）

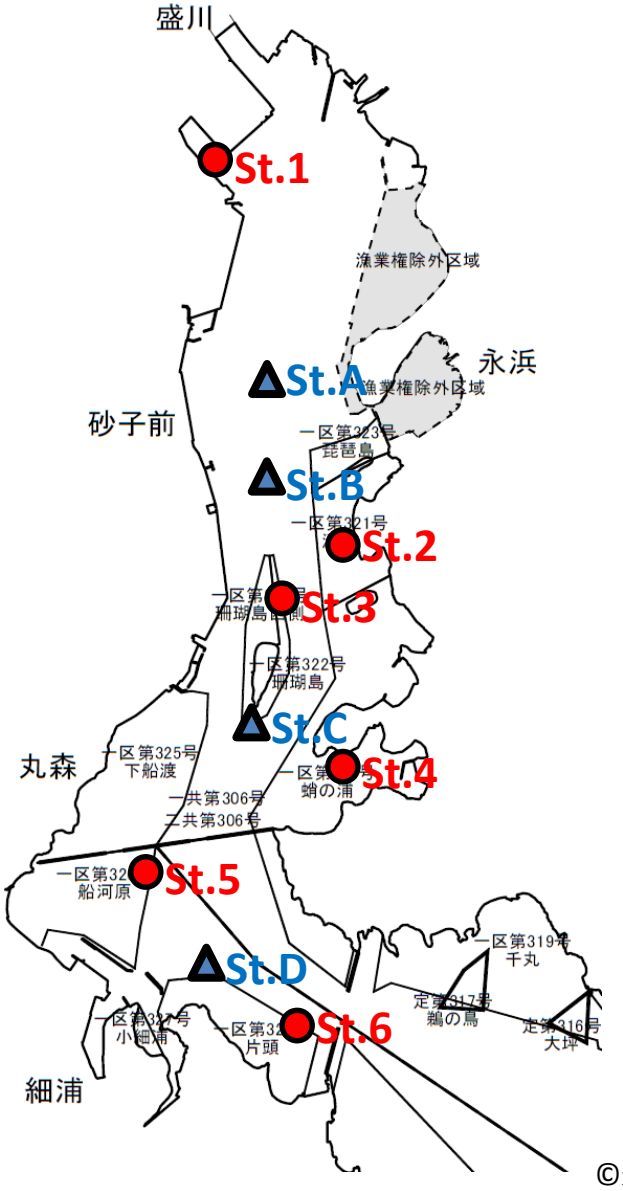
“今月の話題”
湾奥ほど透明度が低くなりました。
表層で水温が高く、塩分は低くなりました。

5月17日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

湾奥で透明度が低くなる傾向があり、St.1では透明度が2.5mでした。
2.5m層及び15m層の水温を過去の結果（2013～2020年度の5月の平均値）と比較すると、1℃程度高くなりました。
全ての定点で表層の水温が約14～18℃と高くなり、St.1～3では表層の塩分が30を下回りました。
降雨の影響で表層に高水温、低塩分の水が流入したと思われます。

海域名：大船渡湾
調査担当：水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点（St.）		1（湾奥）	2（清水）	3（珊瑚島）	4（蛸の浦）	5（船河原）	6（片頭）
観測年月日		令和3年5月17日					
観測時刻		12:48	10:30	12:28	12:06	11:51	11:40
水深（m）		10.1	24.0	29.0	21.8	25.5	37.2
透明度（m）		2.5	7.5	6.5	8.0	9.5	10.5
水色		10	8	8	7	6	7
水温（℃）	表層	18.0	16.4	17.0	16.5	15.1	13.8
	2.5m層	13.5	12.0	12.8	12.9	13.2	12.1
	10m層	－	10.1	10.0	10.0	10.0	10.2
	15m層	－	9.8	9.8	9.8	9.7	9.6
	底層	10.3	9.4	9.5	9.5	9.3	9.1
塩分	表層	16.3	28.8	29.2	30.0	31.2	32.2
	2.5m層	31.8	33.1	32.7	32.9	32.3	33.1
	10m層	－	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6
	15m層	－	33.6	33.7	33.6	33.7	33.7
	底層	33.6	33.7	33.7	33.7	33.7	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層	118.2	126.6	125.6	127.5	121.3	123.1
	2.5m層	126.7	129.2	130.7	132.9	120.8	125.6
	10m層	－	125.2	125.2	125.2	122.6	119.3
	15m層	－	122.9	119.5	124.2	119.9	118.7
	底層	120.4	107.6	93.5	112.6	101.2	85.2

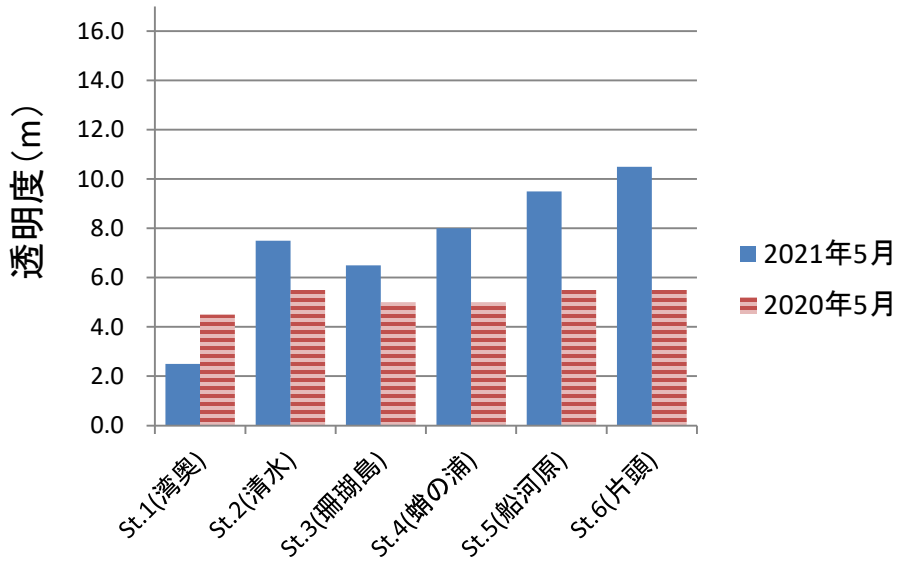


©岩手県（漁業権連絡図）

図1　大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6（○）において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
　St.AからSt.D（△）において表層0mから水深15mの水質を観測した。

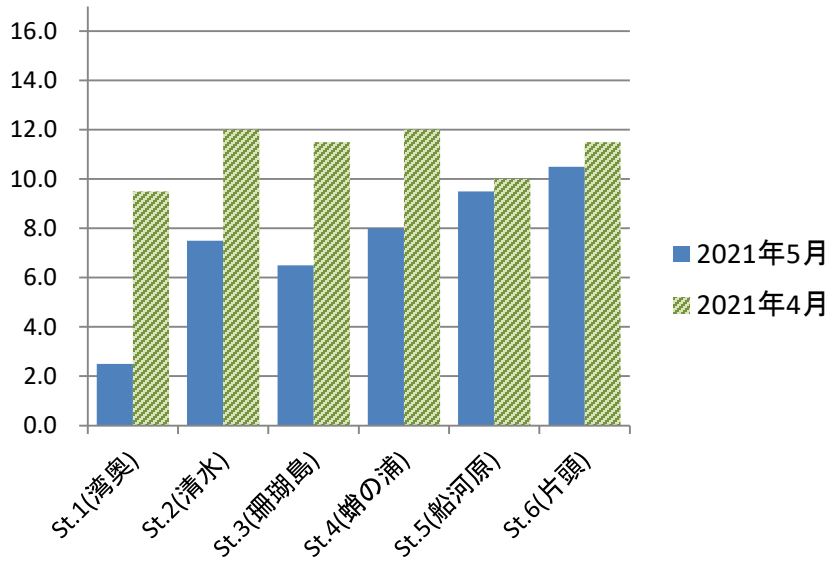
前年同月との比較



・湾奥ほど透明度が低い傾向

・St.2及び4～6で前年同月より低い

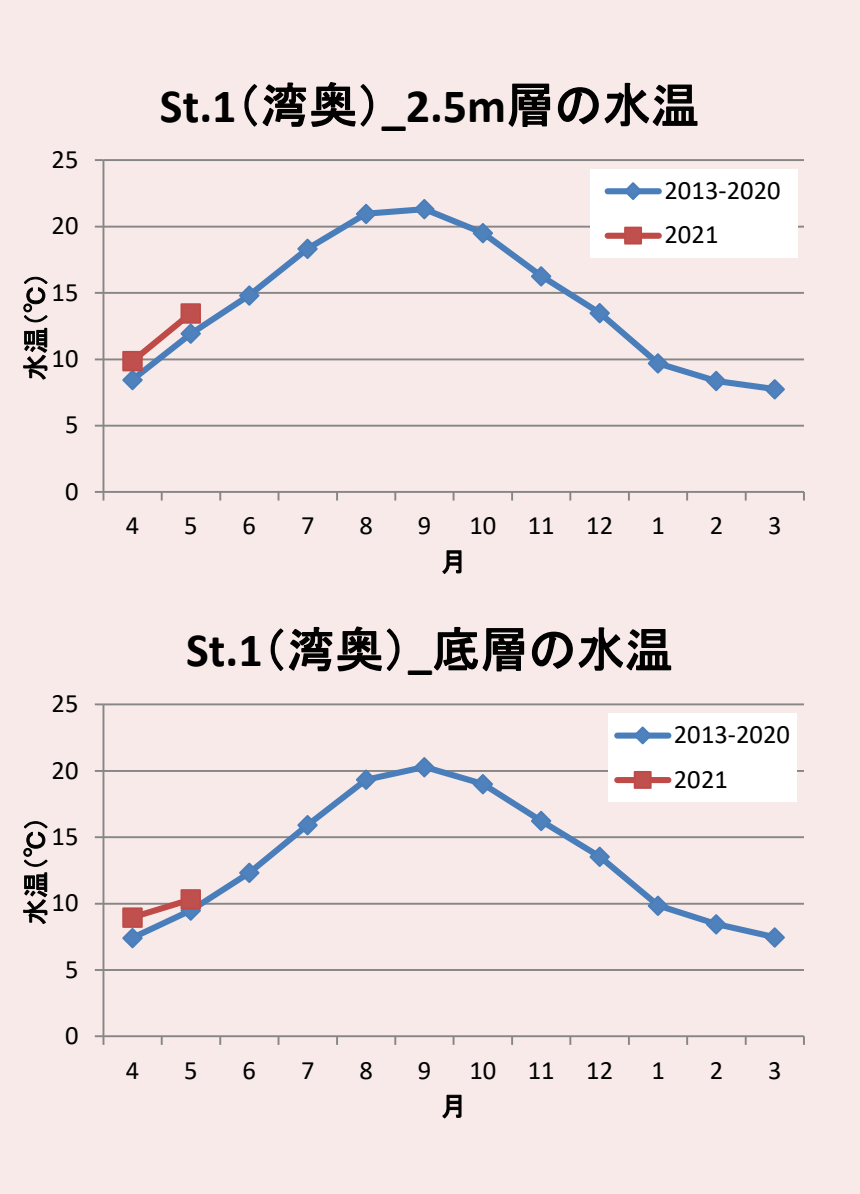
前月との比較



・St.1～4で前月より低い

・St.5及び6は前月並み

図2　透明度の比較（前年同月、前月）



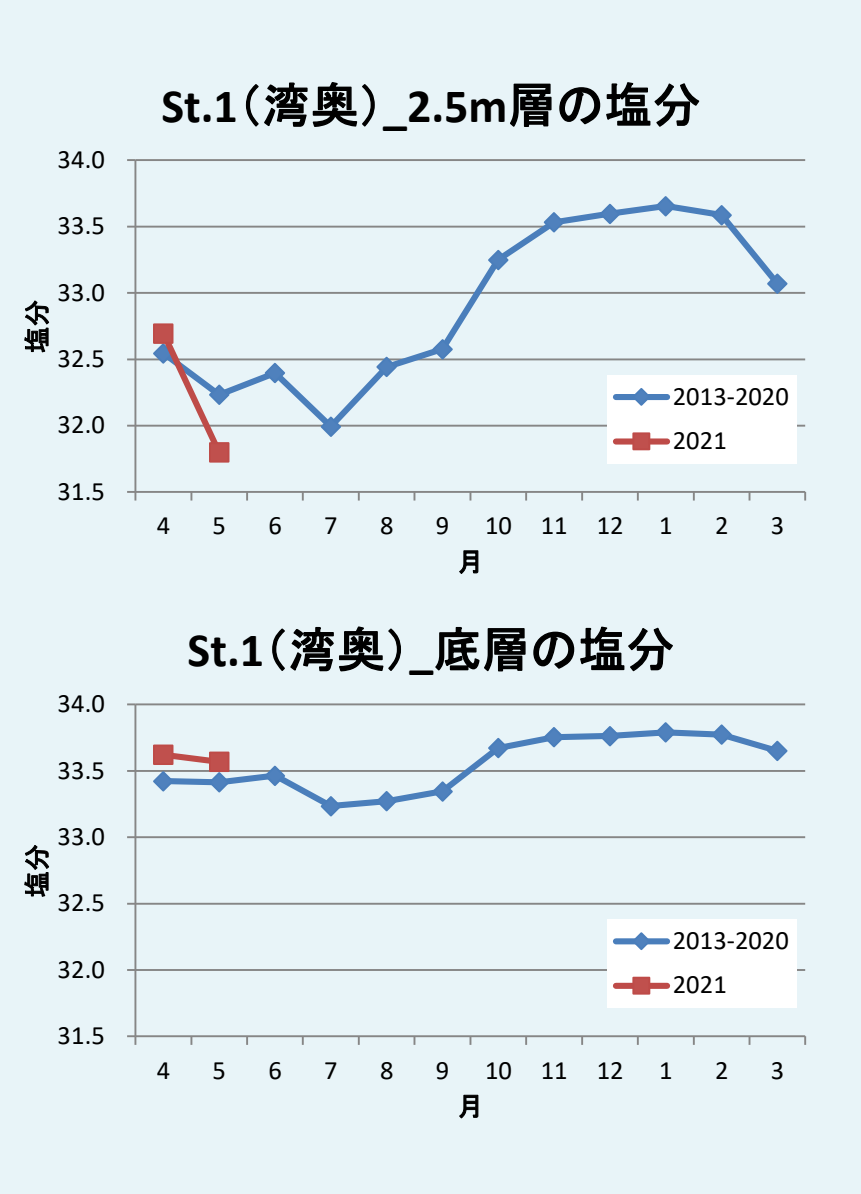


図3　St.1（湾奥）の水温及び塩分の推移

※St.1は水深10m未満

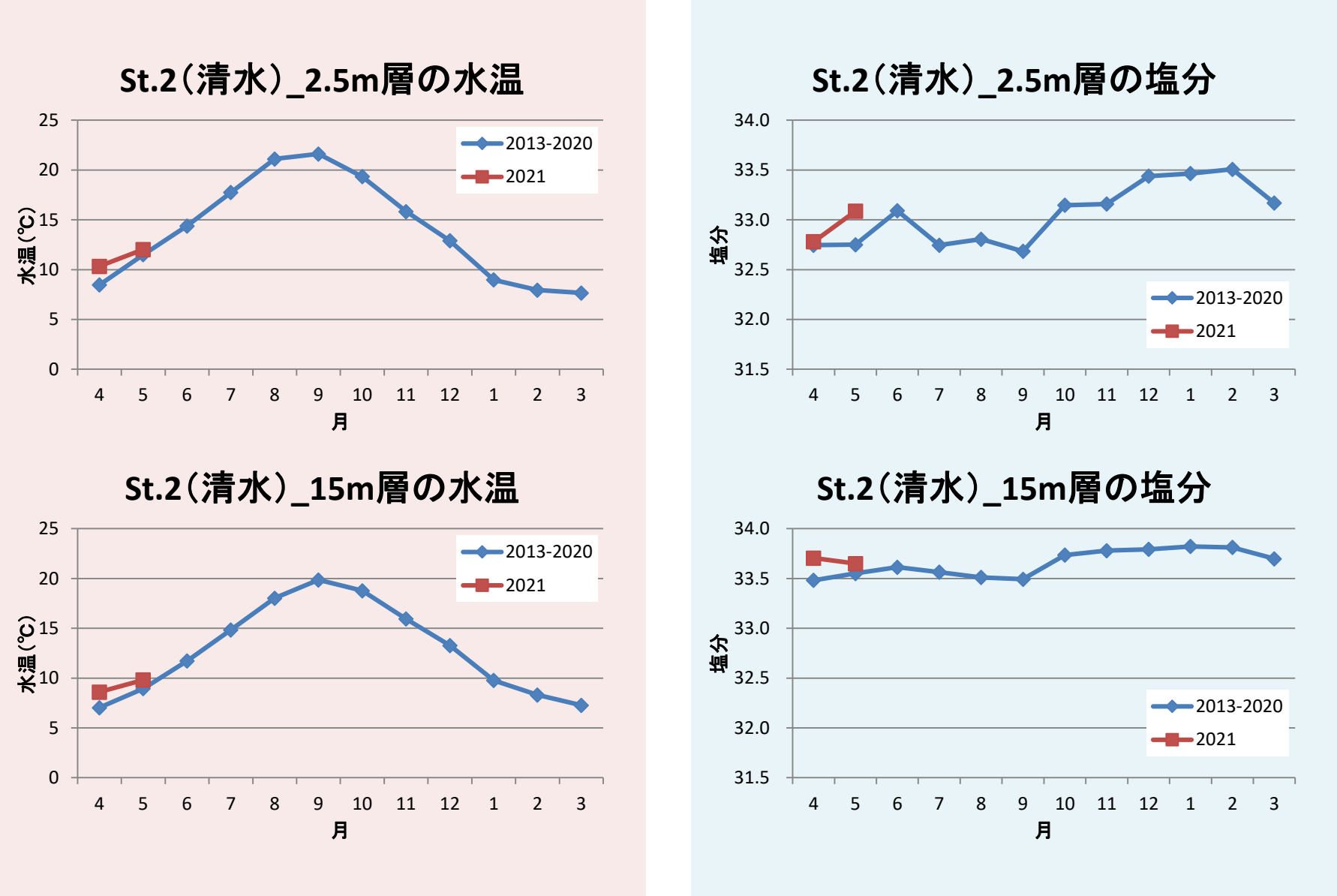


図4　St.2（清水）の水温及び塩分の推移

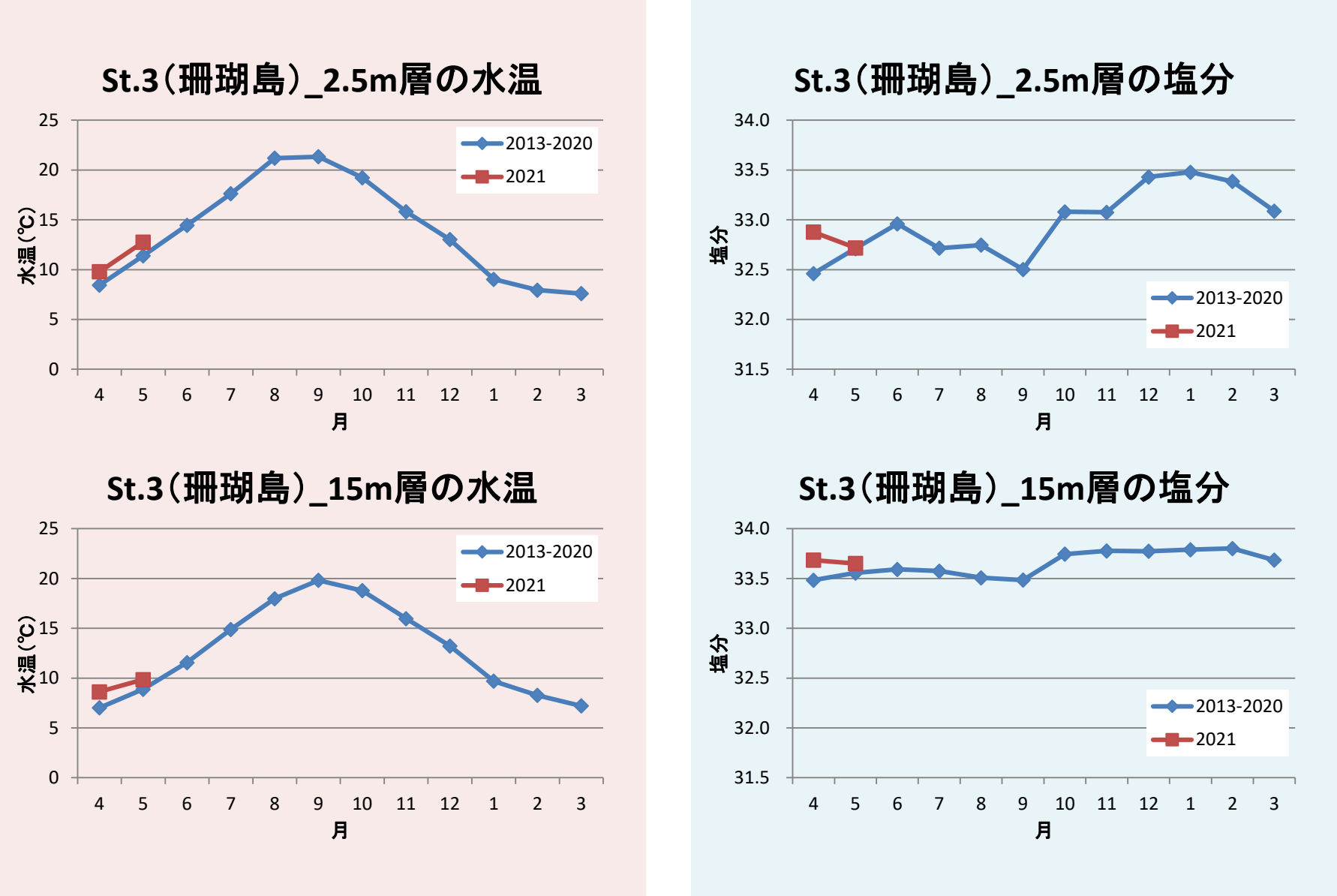


図5　St.3（珊瑚島）の水温及び塩分の推移

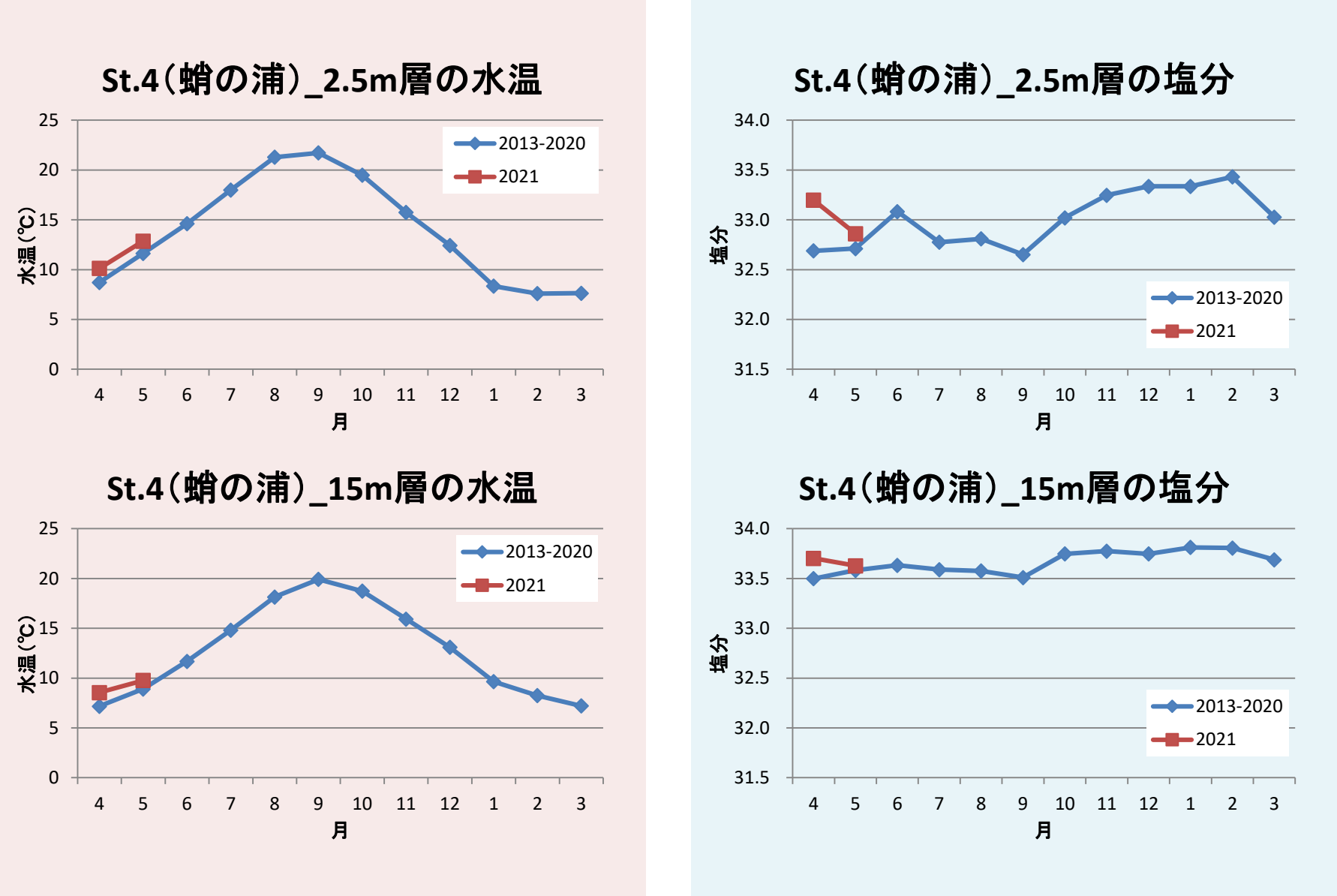


図6　St.4（蛸の浦）の水温及び塩分の推移

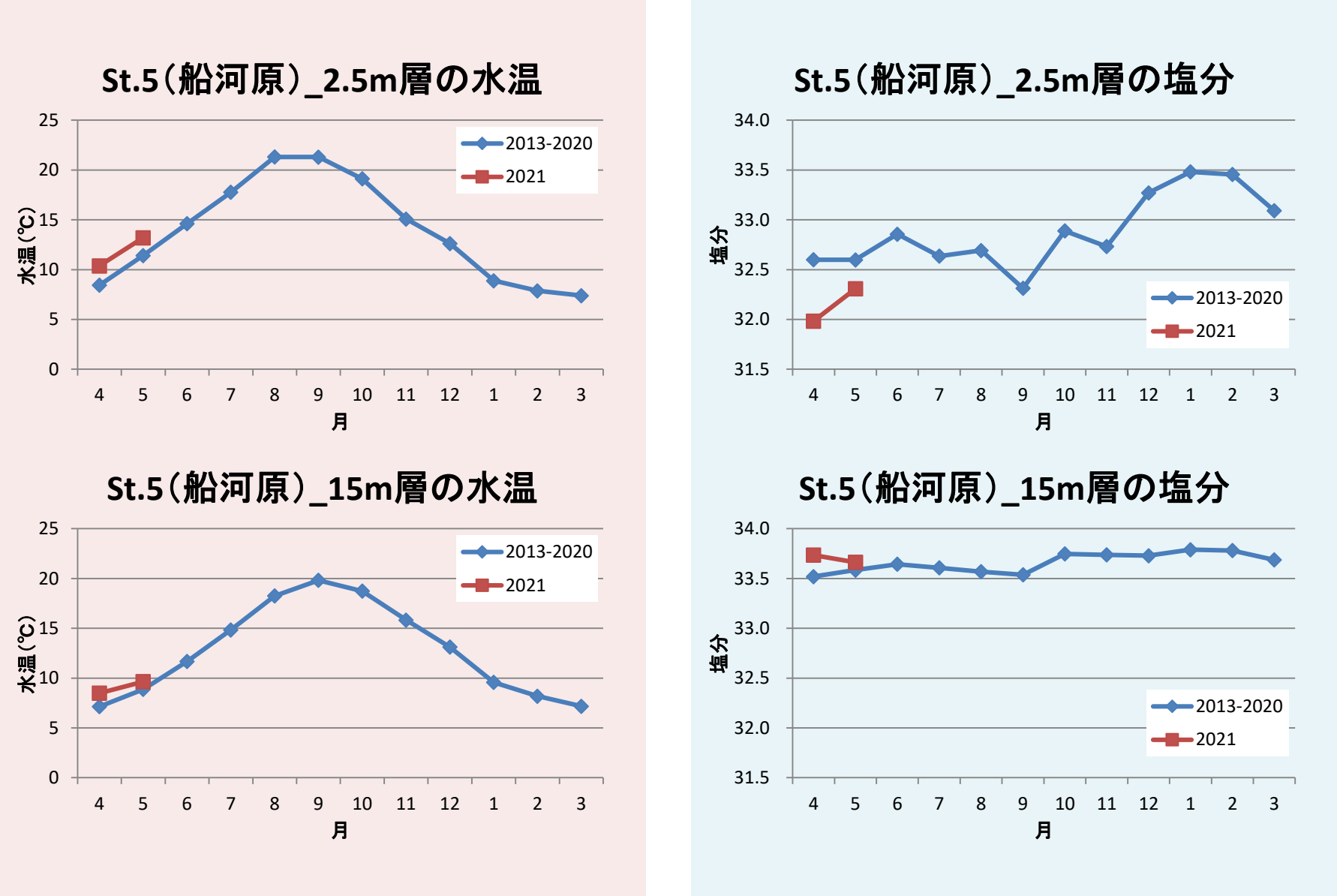


図7　St.5（船河原）の水温及び塩分の推移

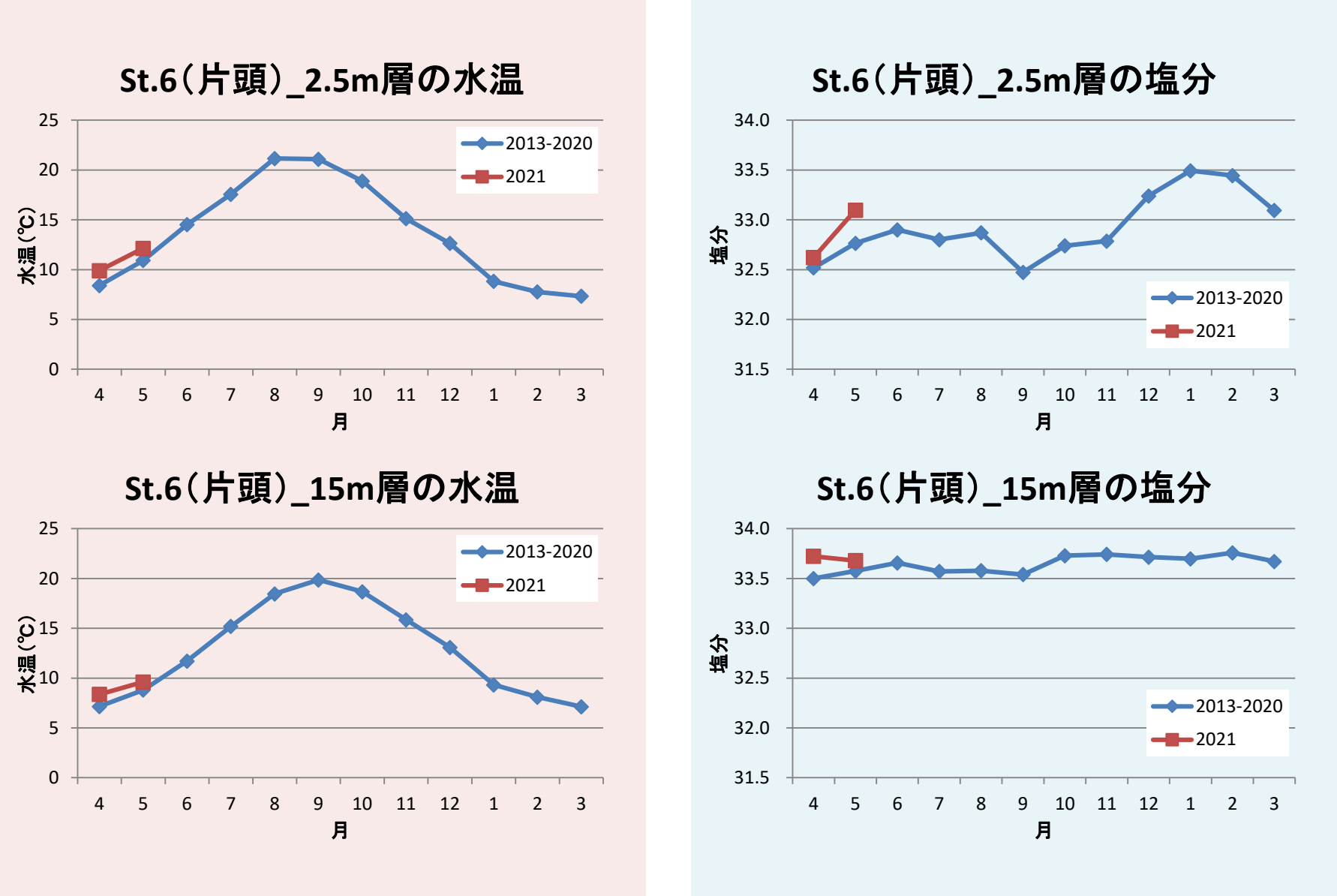
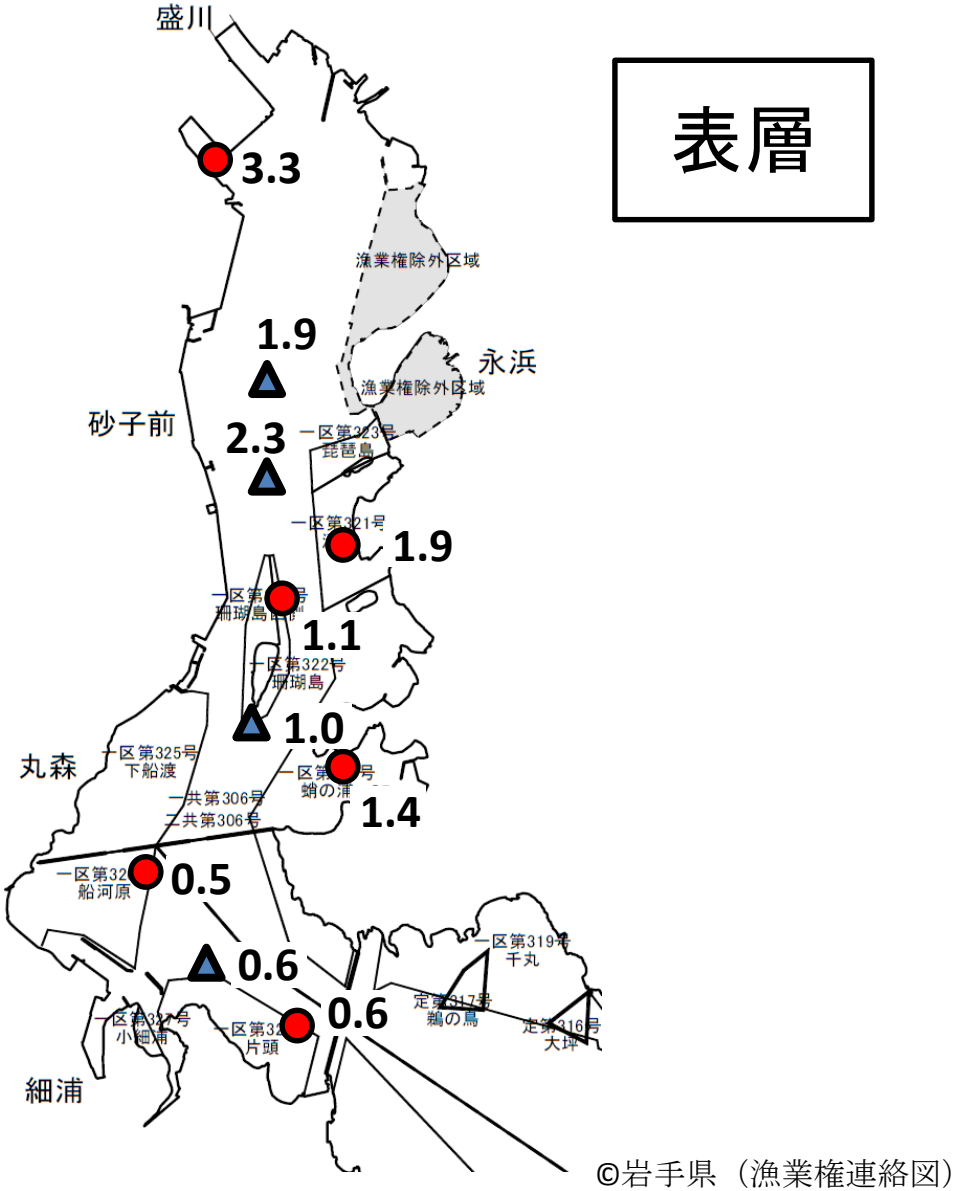


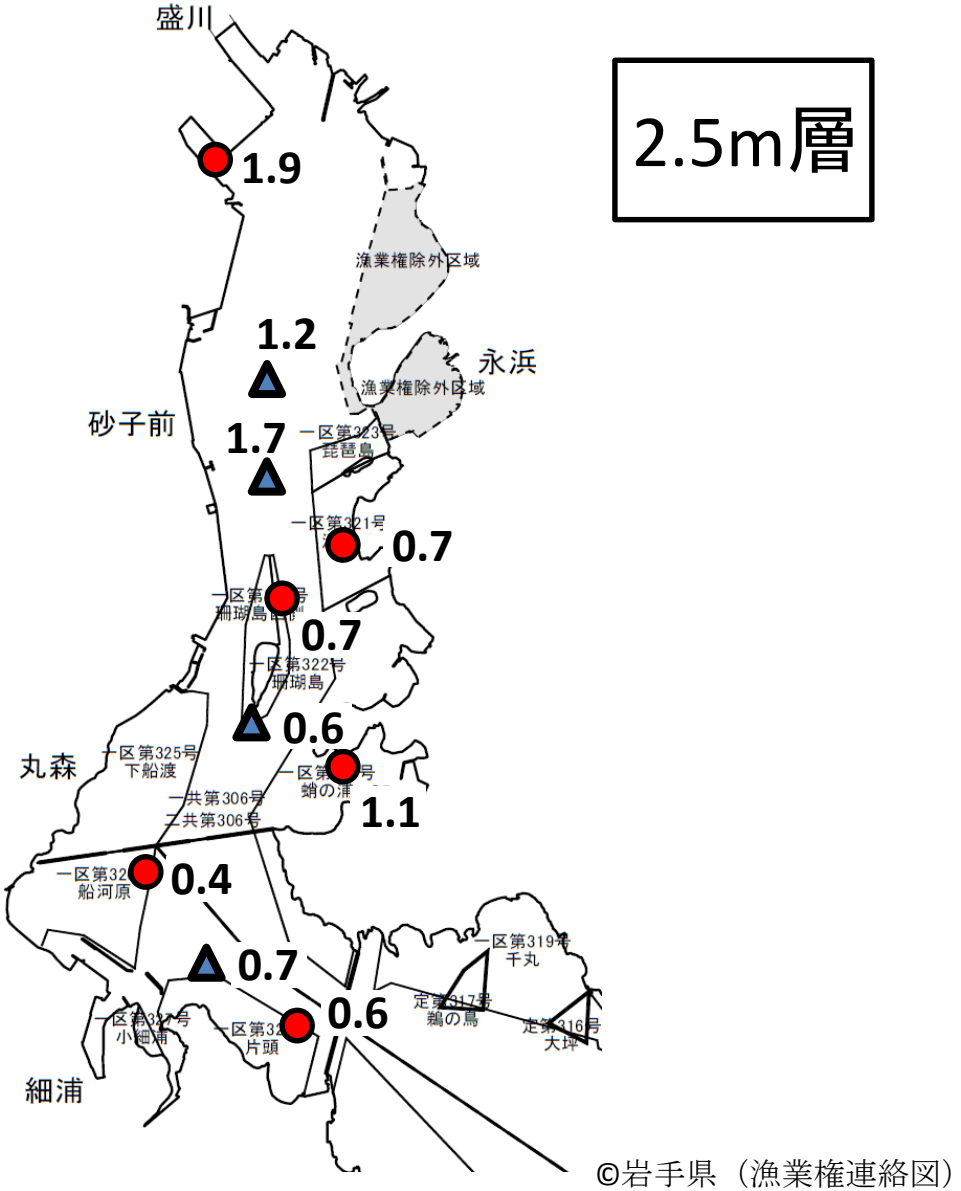
図8　St.6（片頭）の水温及び塩分の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図9　表層のクロロフィル量

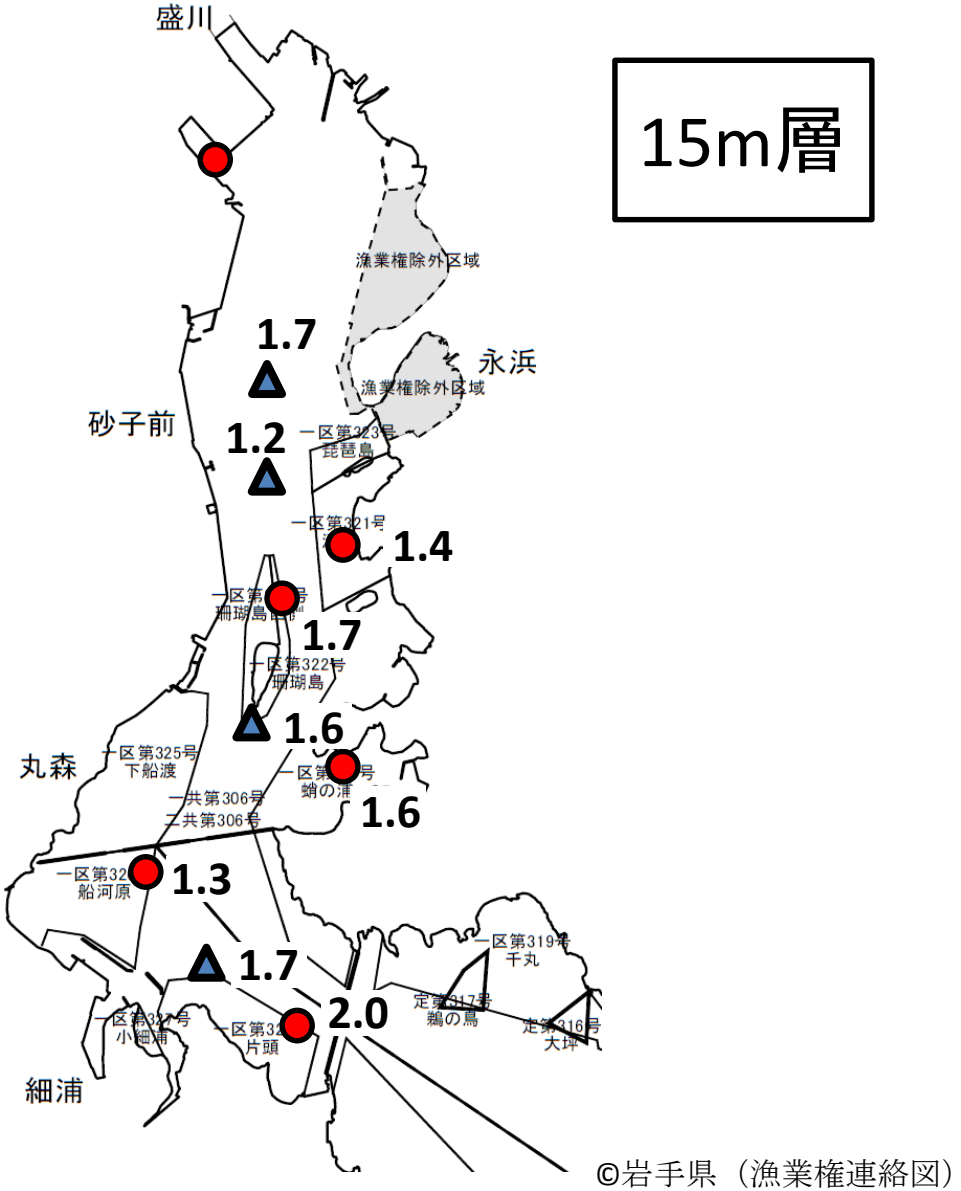
※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図10　2.5m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図11　15m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。St.1は水深約10mでした。